

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	在宅医療連携モデル構築のための実態調査事業			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課			室長：伯野 春彦		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成24年3月30日医政発0330第28号「医療計画について」 平成24年3月30日医政指発0330第9号「疾病又は事業及び在宅医療に係る医療体制について」等					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	増大する慢性期の医療ニーズに対応するための在宅医療連携モデルの構築を目指す。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	先進地域等で実践されている在宅医療にかかる病診連携、診診連携等の連携体制に関する基礎データを収集し、自治体や医療機関に対し情報提供を行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	21			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	0	0	0	0	21			
	執行額		-	-	-	-				
執行率(%)		-	-	-	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	在宅医療に取り組む医療機関数の増加	在宅療養支援診療所・病院数(目標値「前年度以上」、26年度実績は集計中であるため、27年度目標値は26年度目標値と同値)(地方厚生局への届出数)	成果実績	箇所	15,059	15,701	15,636	-	-	
			目標値	箇所	14,504	15,059	15,701	-	精査中	
			達成度	%	100	100	99.6	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト=X(執行額)/Y(事業モデル数)			単位当たりコスト	千円	-	-	-	-	
				計算式	X/Y	-	-	-	-	
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	保健福祉調査委託費	-	21							
	計	0	21							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	政策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
	測定指標	定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	本事業を実施することにより、在宅医療にかかる医療機関間の連携が推進され、良質かつ適切な医療を提供することに寄与する。 本事業を実施することにより、増大する慢性期の医療ニーズに対応するための在宅医療連携モデルを構築することができ、良質かつ適切な医療を提供することができる。										
	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	-	-	
達成度	%		-	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
	項目				評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	国民の多くが人生の最終段階を自宅で迎えることを希望しており、これに応えるための在宅医療の体制を整備することは喫緊の課題であり、ニーズを反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	国が今後の施策の方針等を示すための好事例収集の事業であり、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	在宅医療の体制整備は、社会保障・税一体改革大綱にそった重要な施策であり、優先度は高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				-	-					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				-						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				-						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				-	-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				-	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-	-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-	-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-	-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-	-					
	所管府省・部局名		事業番号		事業名						
	-		-		-						
点検結果・改善	点検結果	-									
	改善の方向性	-									

外部有識者の所見

点検対象外

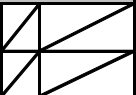
行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

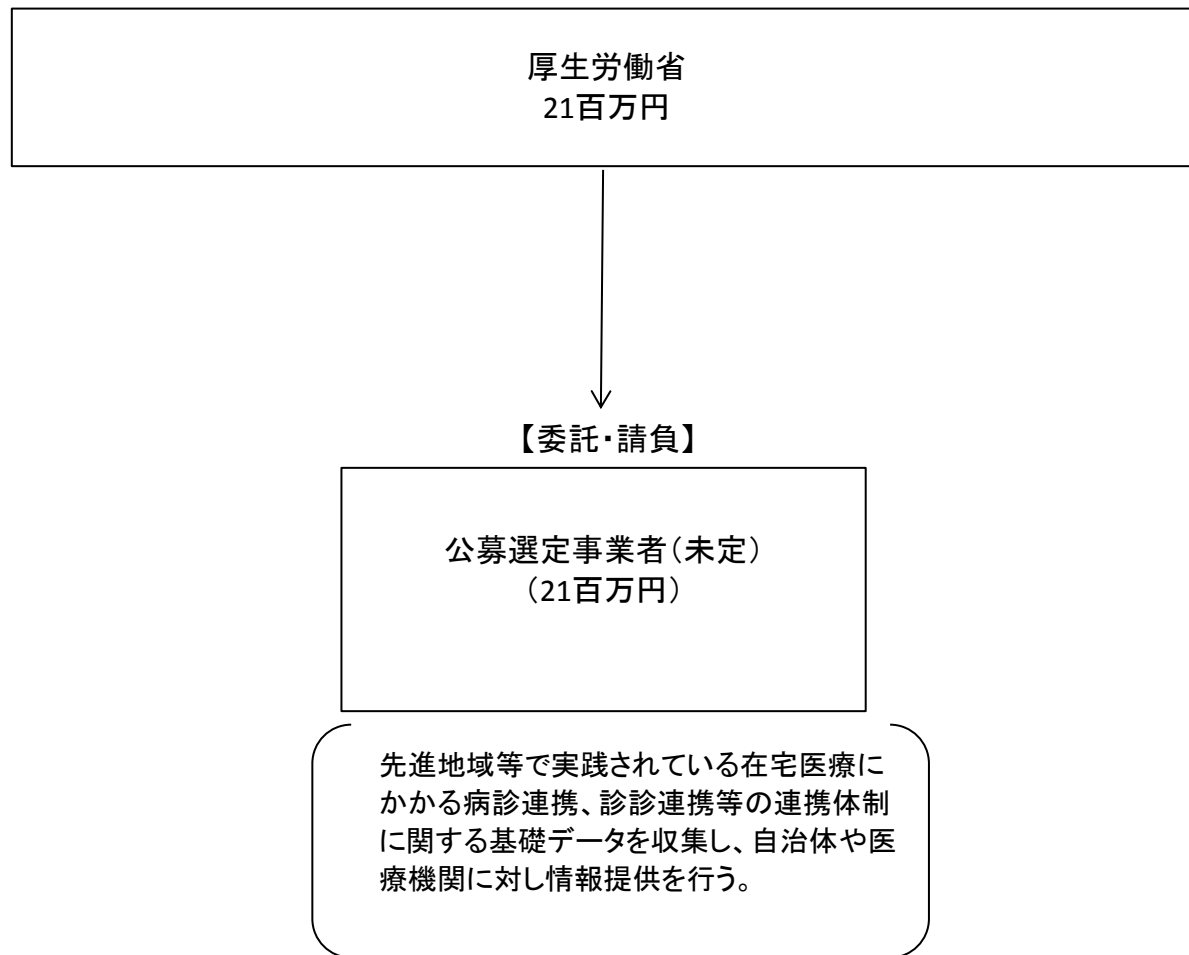
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※執行実績がないため、平成29年度執行のイメージ



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万
円)

